



## つくしぐみだより

2023.12

記録的な温かさだった11月も終わり、ようやく寒さを感じる事が出来るようになりました。最近では春や秋を感じる時期が短くなったかのように思います。

「四季」があるのが、日本の気候の特徴ではありますが、そうした季節の移ろいを子どもたちに少しでも感じられるよう日々の生活を大事にしていけたらと思います。



### 【子どものつぶやき】

今月は日ごろの保育の中で子ども達が何気なく呟いた言葉を担任なりの視点でお伝えさせていただきます。

日頃保育をしている中で、「こうかな?!」「そうじゃないかな!?!」と思う事は沢山あります。ただ、「本当にそう思っているか」はその子にしか分かりません。

でも、本当に大事なのは合っているかどうかではなく、子どもの視点に立って考える、子どもの気持ちを想像する事ではないかと思います。そうすることで子どもとの関係性が近くなり、理解を深めると考えます。

忙しい毎日ではありますが、お子さんと関わる中で「こう思っているかな?!」「こうしたかったのかな?!」と思いを巡らせることが子どもとの距離を縮めるきっかけとなるかもしれません。

「あつこせんせい きてからだよね」

毎朝給食室の先生が牛乳を運んできてくれるのですが、それを見た途端、担任が何も言わなくても、テーブルに着く子がいます。

ある時、その様子を見た△ちゃんが「あつこせんせい きてからだよね」と呟きました。

いつも職員の人数が揃ってから提供しているのですが、△ちゃんはそのような職員の様子をよく見ていて、尚且つ「先生が来てから飲める」という生活の見通しをもって生活しているからこそその一言だったように思います。周りをよく見ていることに感心させられました。



「いろがかわった!」

天候が不安定で、日が差したり、雨が降ったり、曇ったりが続いた午前中のある日。「なんか いろがかわった!」と何度か呟いた〇くん。

不定期に何度か「いろがかわった!」と呟いていたので、しばらく様子を見ていたら、謎が解けました。日が差して、晴れ間が覗くたびに呟いていたのです。

外や室内の景色が「色が変わった」ようにみえた〇くん。

その後は晴れ間が覗くたびに「いろがかわった!」と一緒に喜び、〇くんと思いを共有することができました。